

塩小への「ありがとう」と「さようなら」を歌にのせて…。



8/22(水)に、「校歌を歌う会」を開催しました。塩野町の佐藤祥子さんが指揮・合唱指導を、大須戸の中山陽向さんがピアノ伴奏をそれぞれ引き受けてくださり、校歌斉唱と2部合唱を行いました。懐かしい響きに「やっぱりいい歌」「来てよかった」、特別な思いを込めてみんなで声を合わせるハーモニーを堪能しました。

校歌は、同じふるさとをもつ人の心をつなぐ歌といえます。この会は、みんなで歌い、地域の方々が自分らしい方法でこの閉校という節目の年に関わってほしいと考え、まち協で企画したものです。今後も数回の練習日を設け、記念式典での斉唱や、まだ誰も聞いたことのない校歌の「3部合唱」を披露する会も設ける予定です。まだまだ参加者を募集していますので、子どもも大人もお気軽においでください。

次回練習日：9/22(土)の夜7時から

地域のお宝箇所

スクラムネット観光部会から



稲村の城
早稲田

早稲田の山崎から、小須戸の八幡山(NTTのアンテナあり)にかけて続く低い山並みは稲村の城と呼ばれている。

それは近年確認された山城で、戦国時代に出羽街道の見張りのため置かれたと思われる。早稲田地内は連続した掘切と曲輪(くるわ)が確認でき、原小須戸地内は広くなだらかな山並みである。昔は、東側は高根に続く道、西側は出羽街道、南側からは村上城までそれぞれ見渡せ、北側は山伝いに大須戸や荒沢に行くことができる。また、高根川と大須戸川に挟まれ、争いの際には原小須戸からの避難場所であったろうし、出羽街道を通行する軍団の見張りには格好の地である。その時代、小須戸を支配下においていた大場沢の鮎川氏が構えたものと思われる。(原小須戸 渋谷直喜)



編集後記

今年は西日本の水害、また全国的に猛暑の夏となりました。会う人会う人「今日もあっちゃねー」が毎日の挨拶であったように思います。村上も何日か猛暑日になり、雨が降らず、農家、家庭菜園をされている方は、毎日の水の管理、水やりに苦労されたのではないのでしょうか。

各集落での盆行事も終わって、収穫の秋を迎えますが、例年以上の収穫に期待したいものですね。

(本小須戸・斎藤 勉)



発行：塩野町地域まちづくり協議会
編集：ほっとニュースステーション
連絡先：朝日支所地域振興課自治振興室(事務局)
TEL 72-6881 FAX 72-0328
E-mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
URL(ホームページ) http://www.city.murakami.lg.jp

地域外転出者へ通信を送付いたします。

地域外へ転出された塩野町地域内出身者で、ご希望の方に当通信を送付します。ご親戚・ご友人など送付のご用命の方は、協議会役員または事務局にご連絡をお願いいたします。

塩野町地域まちづくり協議会



第26号

塩野町小学校 最後の運動会

今年は閉校記念大運動会ということで、学校や地域代表として、開会式で聖火ランナーの1人として私も走らせていただきました。

今年のスローガンは、「燃えろ最後の運動会・塩小伝説・永遠に!」で、各学年の興味走では、クイズや塩小への感謝を叫ぶなど、学校に関する事柄を取り入れたりして競技しました。

皆さんの声援も今まで以上に大きく、とても盛り上がり

りました。また、卒業生の方で、最後の運動会になるということを知り、懐かしさを感じて観戦に駆けつけてくださった方も多くいました。

閉会式後に、全児童達がグラウンドを歩きはじめたとき、その場で声を掛けたにも関わらず、保護者の方々が大勢集まって来て、児童達を出迎え、みんなでハイタッチを交わしながら歩きました。その光景は感動的で、中には目頭を熱くしている方もいました。

今までにしたことがないこともやってみた運動会。大声援と大感動に包まれて、大成功のうちに終えた大運動会。きっと皆さんの心に、大いに記憶されたことと思います。

(塩野町小学校 PTA 会長 小田勝幸)



地域の行事

- 9月
 - 8日 小学校新保岳整備登山
 - 16日 敬老会(本小須戸・大須戸・塩野町・早稲田)
 - 20日 小学校新保岳登山 猿沢保育園運動会
 - 23日 蒲萄大運動会(蒲萄グラウンド)
- 10月
 - 4日 小学校マラソン記録会
 - 7日 原小須戸敬老会
 - 15日 松岡集落神楽
 - 20日 小学校展覧会
 - 21日 あさひまつり(みどりの里周辺)
 - 25日 塩野町集落神楽
 - 27日 中学校文化祭
 - 28日 敬老会(蒲萄)
 - 29日 大須戸集落神楽
 - 下旬 早稲田収穫祭
- 11月
 - 3日 朝日馬伝大会 荒沢集落神楽
 - 11日 秋の大収穫祭(小学校体育館)
 - 17日 小学校閉校記念式典
- 12月
 - 2日 荒沢集落収穫祭・敬老会(白山神社)
 - 7日 猿沢保育園おゆうぎ会
 - 9日 オサトサマ(塩野町公民館)
 - 下旬 ぶどうスキー場オープン予定

※開催時間などは、各集落まちづくり役員にお問い合わせ願います。

地域の出来事については塩野町地域まちづくり協議会のHPでも紹介しています。

塩野町地域まちづくり協議会 検索 をクリック!

QRコードはこちら



能の里・大須戸で「お宝めぐり」

7月22日(日)、大須戸集落にて「お宝めぐり in 大須戸」が開催されました。まち協発行の地域のお宝マップ「しおのまち図」を活用してのこのイベント、今回は子ども12名、大人7名の参加者が集まりました。

案内人の中山和衛さんと斎藤博樹さんに導かれ、一行はまず、黒塀の美しい中山邸へ。当主の中山定一郎さんからお話を聞き、次は東泉寺に向かい、野田和尚さんから鳴海金山と大須戸集落の関わりを聞き、八坂神社では能の歴史に触れました。最後にいわれのあるお地蔵様を訪れ、「お宝めぐり」は終了。子ども達で、世界でただ一つのお宝マップを作成しました。

「ミ二能の歩き方教室」も実施し、真剣に案内人の後についてすり足を実践する子どもたちの姿が印象的でした。どの子にも「自分達の地域にはこれがある!」と胸を張って言ってもらいたいものです。



～おいしい季節がやってきました。地域のごちそうを召し上げ!～

秋の大収穫祭 と き 11月11日(日) ところ：塩野町小学校体育館 10時から13時30分まで

※前売りチケットが必要です。数に限りがありますので、集落回覧中の申込票にて、お申し込みください。(お問い合わせ：協議会事務局 TEL 72-6881)

おーい今年も集まろうて!!

他地域との交流

各地で、移住者や地域おこし協力隊に「ヨソモノ目線」が求められているように、他地域から人を招くことで、自分の地域のよさに気付かされる…ということが多いそうです。

「田舎にもいいところたくさんあるな」と自分の地域に対する肯定感を深めたり、訪ねてきた人とふれあい、

「また来るね」と言ってもらえたり、そういうプロセス・経験が、自分の地域を見つめなおすきっかけとなります。他地域との交流を通して、地域の活性化に成功している事例は全国に少なくありません。

塩野町地域でも、他地域との交流を通して、集落活動を手伝ってもらったり、楽しい交流の時間を過ごしたりと、活気を生み出している集落があります。今回はその2つの集落をご紹介します。

新潟大学学生との交流について

早稲田区長 富樫敏栄



早稲田集落は、平成22年度から新潟大学との交流が始まりました。新潟大学では、社会で活躍するために必要な力となる、コミュニケーションや企画・実行力等を身につける目的で、文系・理系・医歯系の専門の壁を取り払って、自由に参加できる課外授業があります。

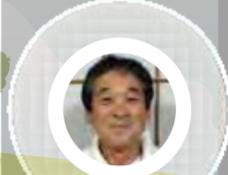
早稲田集落が受け入れしているのは、Qホームというグループのメンバーで、4月は壮年会主催の花見会、6月は三吉様参拝と塩の道整備、7月は天王様のしめ縄作り、10月の収穫祭、二月はわらじ作りや和菓子作りと、年5回ほど訪れています。

区民の数が減少している中で、学生達の行事等への参加は集落の活気を維持して行くうえで、大きな力になっています。何よりもうれしいのは、学生の皆さんが行事の手伝いや話し合いを通して、目配りや気配りが出来る様になり、成長していく姿を見る事です。



10年続く鶴岡の人たちとの交流

蒲萄 菅原忠志



鶴岡と交流を始めたきっかけは、10年前のスキー場最終日。くらした食堂にて10人くらいで食事をしていたので、どこから来たのか話しかけたところ、鶴岡から来ました、ここに来ているのは山形で長靴ホッケーをしているメンバーとのこと。

色々な話をし、意気投合し、今度の9月23日に運動会があるので来ないか…と話したら、子どもも入れて20人くらい参加してくれました。若い女性も多く来てくれたので、蒲萄にいる若者と結ばれてくれればとの思いがありましたが、縁がないのか結ばれませんでした。毎年、スキー場の最終日と集落の運動会の2回来てくれます。

運動会には山形名物の芋煮をご馳走してくれたり、蒲萄公民館の人たちと、よさこいと旗のコーポで踊ったりしています。蒲萄からは、1回花見に行ってきました。

交流を始めて10年、今では蒲萄の人達とも交流を深め、仲良くやっています。この交流は長く続けていきたいと思っています。



地域おこし協力隊・高橋直人の

Shionomarch Vol.7

「協力隊通信 Shionomarch」はまちづくり通信にて連載でお届けしています！

皆さんこんにちは、地域おこし協力隊の高橋直人です。夏が来たかと思えばもう終ろうとしている今日この頃、皆さん夏の思い出は沢山できましたか？ 僕はこの夏はサクランボ祭りからはじまりました。昨年に引き続き実行委員長として関わらせていただき、昨年をさらに上回る沢山の方にご来場いただきました。

また、大手音楽機材メーカーのサウンドハウスさんの企画「YOITOKO 巡りツアー」にも、大須戸集落が日本全国沢山の応募の中から選ばれたり、新しい流れも見せはじめております！

ぜひ、皆さんもインターネットで検索して見ていただくと嬉



しいです！

またこの夏は大須戸の風祭りにも出場させてもらい、相撲をとらせていただきました！見事3人抜きを達成し景品もちゃっかりいただきました！！小須戸の花火も特等席で見せていただいたりと夏を満喫しております！！

まだまだ残りの夏も存分に楽しみたいと思っております！！



「塩小」の名の下に！

8月19日(日)、朝日多目的グラウンドで第37回ジュニアスポーツ大会が開催され、塩小6年生チーム「塩小フレンズ」と4・5年生混合チーム「塩小ファイナルズ」の計2チームが出場しました。「塩小」として出場できるのは今年で最後。有志の子ども達は、この暑い夏、各種行事がある中を縫って練習し、保護者も毎回練習を手伝ったりと厚いサポートを続けていました。

「塩小ファイナルズ」の最終戦は三面小学校との対戦となり、今年度で閉校を迎える学校同士の記念マッチとなりました。沢山の観衆も総立ちで声援を送っていました。試合結果はいずれも各ブロックで3位と残念でしたが、子ども達の顔には晴れやかな笑顔が。お父さん2名がホームラン競争で入賞、お母さん2名がハッスル賞を受賞するなど、思い出深い大会となりました。



荒沢のお盆一景



暑さもお盆までと云われてますが、朝晩の涼しさで、暑さにも一段落ついたのではないのでしょうか。

さてお盆は、ご先祖様が帰って来られるということで迎え盆(きゅうりの馬に乗って早く帰ってくるの意)から始まって、送り盆(なすの牛でゆっくり帰るの意)まで各家庭においてご先祖をおもてなししたり、皆さんの集落でもお墓参りなどされて過ごしたかと思います。荒沢でも、帰省して来た家族、友人等と食卓を囲みいつも以上に和気あいあいと賑やかなことでした。

特にどことも変わらないお盆の風景ですが、夏に会える親戚や、ご先祖に様々なお土産がお供えられる様を見ていると、夏も終るなあという一抹の寂しさを感じたりします。

季節は虫の音が替わり収穫の秋へと続きます。お盆の一景でした。

(荒沢・小林一博)

